

一 学習の進め方を示した学習の手引き

○「あらすじ」のまとめ方を示した学習の手引き（四年 教材「こんぎつね」）

心にずきんときたところを中心に、物語のあらすじを「五〇字にまとめよう」。

【あらすじのまとめ方】：「こんぎつね」は自分にとっては、こんな物語です！

- ① 心にずきんときたところや心に強く残ったところに線を引く。
- ② 線を引いた中から、いちばん心に強く残ったところ、とくに心にずきんときたところを一文〜三文選ぶ。
- ③ 選んだところを書きぬく。
- ④ 書きぬいた文を中心にして、その前後の出来事を短くまとめ、下書きを書く。
- ⑤ 下書きを読み返して、必要なことを書き加えたり、けずれるところをけずったり、別の言葉に言いかえたりして、一五〇字でいどにまとめる。
- ⑥ あらすじを清書する。

【下書き】

1 心にずきんとしたところを書きぬきましよう。

2 その前後の出来事を短くまとめましよう。

- だれが出てきたか。
- いつ、どこで、どんなことをしたのか。
- きっかけとなった出来事は。
- どのように終わったか。

○情景や人物の関係を図で表現する方法を示した学習の手引き
(六年教材「風切るつばさ」)

「風切るつばさ」のクルルの心の世界を、グループで一枚のボードに表そう。

登場人物の関係や、出来事などをどのよう一枚のボードに表せばよいか、根拠となる叙述に線を引きながら物語を読んでいこう。

○クルルにとつての他の登場人物の関係を表してみましょう。

・ どのような位置に、どのような大きさで他の登場人物をかきますか。

クルルにとつてカララはどのくらいの大きさなんだろう。

仲間のみんなとカララの位置はどこにかいたらいいのかな。

・ 矢印を使ったり、囲んだりして関係がわかるようにしましょう。

線の太さ、線の種類、線の向きや動きなどで

複雑な関係は変化を表現できるようチャレンジしてみましょう。

・ 矢印に、関係がわかる本文中の言葉を短く書きましょう。

・ 言動の背景にある心情、クルルにはまだとらえられていない関係などさまざまな視点から人物の関係を考えてみましょう。

直接は書かれていないけれど、周りのツルたちのこのような言動から……。

クルルは気付いていなかったけれど、もしかしたら、カララやみんなは……。

本当にそうなのか、クルルの心がかたくなになってしまったがゆえに……。

○クルルの心に強くきざまれた出来事を書きましょう。(自己紹介コーナージュの要領で)

・ どのような位置に、どのような大きさで出来事をかきますか。

短い言葉で出来事をまとめましょう。

・ 矢印を使ったり、囲んだりして関係がわかるようにしましょう。

【心の中の世界をえがく中で見えてきたクルルの「自己と他者」】

・ 読むだけだったら気づかなかったかもしれない。一枚のボードにするからこそ。

・ 一枚のボードに表す中で、だんだんこのことが……(大切に、疑問に、頭から離れなく)。

【心の世界をボードに表すためのとっておきの技】

・ この工夫はうまくいった。

・ ここがうまく表現できなかった。自分のマップをえがくときは、こうチャレンジしてみたい。

・ 他のグループを見るとき、こんなワザが見つかったよ。

学習の手引きは、子どもたちが活動にとまどわないためのヒントになるものです。考えを方や学び方を具体的に示すことで、学びの質を高めることができます。学習の手引きをそのまま使ってもよいし

そこから、思いついたことを自由に使ってもよいのです。

一人ひとりの子どもの学習状況を思ういうかべ、

どんな言葉をかけようか考えることがスタートです!



11 学習を深めるための視点を示した学習の手引き

○自分がいちばん強く心を打たれる場面(叙述)を選ぶための学習の手引き

「の中で、いちばん強く心うたれる場面を見つけよう。」

こんな自分だからこそ、この場面が！

- ・この場面のこんな様子が頭にうかんでくる。
- ・この場面のような思いうかべると、……な気持ちになる。
- ・登場人物のこんな思いに心が……なる。
- ・この場面の登場人物が強くなったえかけてくる。
- ・「○の場面」と「○の場面」と、どちらを選ぶうかまよった。この場面に決めたのは……。
- ・ほんとうに小さな出来事かもしれない、けれど、こんな自分にとっては意味がある。
- ・この場面のこの言葉が……、このように表現されているからこそ……。

【わたしが選んだ場面】

※本文を書き写しましょう。長い場合は、とちゅうを省略(要約)してもかまいません。

【なぜ、その場面にいちばん強く心をうたれるのか】

※他の場面ではなく、なぜ、この場面なのか、いろいろな視点から考えてみましょう。

《見つけた！使えた！自分がいちばん強く心うたれる場面を選ぶコツ》

○複数の叙述や場面を関係付けるための学習の手引き

結び付けると、「ますます心に深くきざまれる」「もっともっと感動的になる」場面(表現)を見つけよう。

①関係がありそうな場面を気軽にえんぴつで結んでみましょう。
いいなあと思ったところは、赤えんぴつで結んでみましょう。

②「どんなことがますます心に深くきざまれるのか」「もっともっと感動的になるのはなぜなのか」メモしましょう。

○選んだ場面の前(後)の場面を結び付けてみると
○選んだ場面とよく似た場面を結び付けてみると

- 選んだ場面とちがう（反対のようにみえる）場面を結び付けてみると
 ○選んだ場面とは、一見、関係がないように思える。しかし、結び付けてみると
- ・「…の場面」があるから、選んだこの場面の様子がますます……。
 - ・「…の場面」と選んだ場面の登場人物のこんな気持ちが重なって……。
 - ・「…の場面」があるから、なぜそんなことをしたのがわかるだけに……。
 - ・「…の場面」が、あまりにもちがってしまっている。その変化が……。
 - ・結び付けてみると、ますますこの場面が大事に思えてきた。
 - ・結び付けてみると、物語の中から、選んだ場面が浮かび上がってくるよう。

【いちばん結び付けたいこの場面】

※本文を書き写しましょう。長い場合は、とちゅうを省略（要約）してもかまいません。

【その場面を選んだ場面と結び付けるよさは】

※他の場面ではなく、なぜ、この場面なのか、いろいろな側面から考えてみましょう。

○子ども心に働きかける学習の手引き(五年)詩のマン・ロジーをしくむじ

複数の詩を読み比べる場面

四十三編の詩を読んで、いくつかのグループに分けまじよう。
 次のようなことに気を付けて、読んでいきまじよう。

はつきり好きだと言えるグループ

- ・この詩を読んでいると、なんだかはげまされるようなきもちになる。
うれしい気持ちになる。
- ・なるほど！この詩のこんな見方や考え方っておもしろい！（いいなあ！）
- ・ええっ。この詩のこんなところはショックだなあ。うわあっ。びっくりした。
- ・そう、そう、そのとおり。この詩の言っていることは自分の気持ちにぴったり。
- ・ううん。この詩を読んで、深く考えさせられたなあ。
- ・この詩のこんな表現は楽しいなあ。
- ・思わず声を出して読んでしまいそうになるよ。

どちらかと言つと好きだと言えるグループ

- ・よくわからないけれど、なんだか好きだなあ。
- ・はつきりしないけれど、なにか心にひかれるものがあるなあ。
- ・このところは好きなんだけれど、この部分は、自分の気持ちにはぴったりこないなあ。

どっちかと言つとあまり好きではないグループ

- ・この詩の内容はとってもいいんだけど、自分にはぴったりこないような……。
- ・この詩の意味がよくわからないなあ。
- ・今の自分は、あまり好きな詩ではないなあ。
- ・この詩の言っていることはよくわかるんだけど……。
- ・わたしは、もつと……という感じの詩の方が好きだなあ。

友達の発表と聞き比べる場面

友達の発表を聞きましよう。

* 友達がいちばんに選んだ詩は、自分のアンソロジーでは何ページになっているでしょう。
* 自分の詩の味わい方と友達の味わい方を比べてみましょう。

その詩、わたしも好きです。

- ・ そう、そう……のところ、確かにそう思う。
- ・ ……ということ、同感。
- ・ ……のところ、そうかな。好きなところは同じだけれど、ここはちよつとちがう……。
- ・ なるほど、こういうところもあつたんだと思う。
- ・ わたしも、同じ理由で、いちばんの詩を選ぶときにまよつたんだけれど……。
- ・ こんなよさもあつたのか。ますます、この詩が好きになってきたよ。
- ・ ○○さんの発表を聞いていて、わたしがなぜこの詩にひかれたのが、はつきりしてきた。

その詩、どちらかと言うと好きという程度でした。

- ・ この詩に、こんな見方や考え方があるなんて、気付かなかつたなあ。おもしろいなあ。
- ・ この前読んだときに考えたことより、ずつと奥深い意味があるんだなあ。
- ・ この言葉が、こんなに味わい深いものであるとは思わなかつた。
- ・ ○○さんの発表を聞いて、はつきりとらえられていなかつたこの詩の情景が……。
- ・ わたしは、これまでこの詩の意味はこうだと考えてきた。こんなとらえ方も……。

その詩、どちらかというとあまり好きではありませんでした。

- ・ こんなところが、自分にびつたりこないなあと、読んだときは考えていたのですが、今、○○さんの発表を聞いてみると……。
- ・ そうかな、やっぱりわたしは、○○さんの味わい方とはすこしちがつていて……。
- ・ えっ。この詩ってこんな情景をうたいあげていたの？
- ・ なるほど、こういうとらえ方ができるのか。少し、好きになってきたな。

○複数の情報と関係付け考えを深める学習の手引き(四年教材「ごんぎつね」)

※シンキングツールを取り入れたワークシートが効果的です。

自分だから「そできる○○○○のしょうかいしよう」

登場人物はいったいどんな人物なのかを考えるには

- ① その人物の会話や行動から、その人物のせいがかよく表れているところを見つける。
- ② 他の人物の会話や行動から、その人物のせいがかよく表れているところを見つける。
- ③ その他の表現から、その人物のせいがかよく表れているところを見つける。
- ④ ①②③を結びつけて、その人物がどのようなせいがかくのか考える。

※軽重をつけたり、ぎやくのように見えるところを結びつけて考えます。

※会話や行動のおくそこにあるその人らしさを考えることがポイントです！

- ⑤ メモをもとにワークシートに清書する。

例えば 「ごんぎつね」の場合

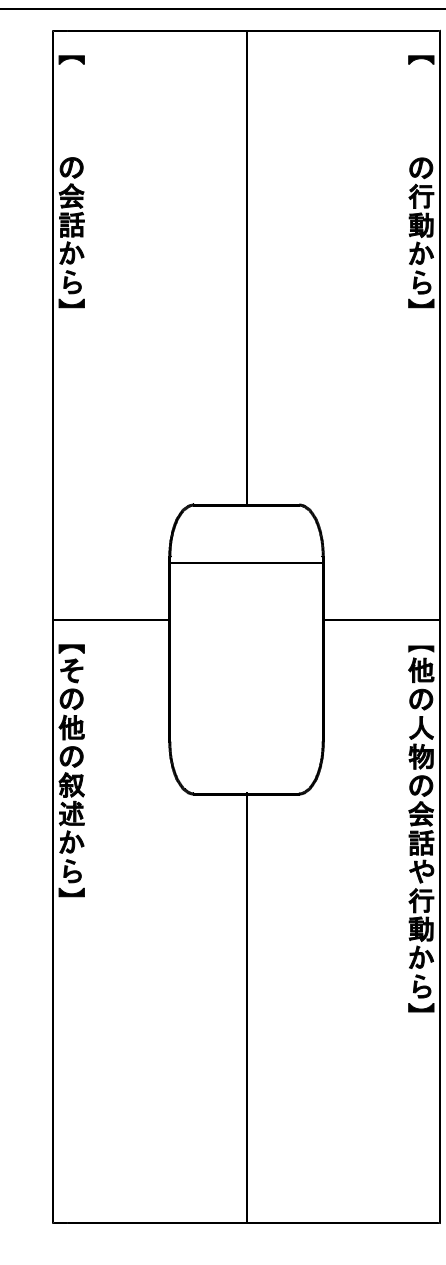
「ただすらばかりする小ぎつね」で

本当の「ごんぎつね」のすがたが伝えられますか？

表の中に、せいかくがよく表れているところを書き出しましょう。

<p>【ごんの行動から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵十や村のできごとのことをよく見ている ・兵十のかげをふみふみ行きました。 ・うちのうら口から こっそり入りました。 	<p>【兵十の会話や行動から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うわあ、ぬすつとぎつねめ。
<p>【ごんの会話から】</p> <p>・「うなぎを食べたいといったにちがいない。…ちがいない。…だろう。」</p>	<p>【その他の会話から】</p> <p>ご ん</p> <p>・さびしがりや</p> <p>・思い込み早がてん</p> <p>・本当の気持ちと言えない</p> <p>・ひとりぼっちの小ぎつね</p> <p>・しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。</p>

自分がしようかいたしたい登場人物の本当のすがたは？



○感想を伝えるためのまざままな言葉を示した学習の手引き(一年)お話のプレゼン(1)

<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいです。 ・うれしくなります。 ・すごいなあと思います。 ・よかったなと思いました。 ・心があたたかくなります。 ・「」といってあげたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すきです。 ・わくわくします。 ・はっとしました。 ・びっくりしました。 ・げんきが出ます。 ・…なことがしたくなりました。
---	--

○友達の発言(助言)の生かし方を示した学習の手引き

<p>友達の意見をもらって自分の考えを進化(深化)させよう。</p> <p>進化のコツ！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 つなげる…二つのキーワードを並べる。 2 付け加える…必要な部分を自分の考えに加える。 3 言いかえる(その1) …共通している言葉に言いかえる。 4 言いかえる(その2) …助言をもとに考え、思い付いた別の言葉に言い換える。 5 やっぱり同じだ！…考えは変わらない。でも、自分の考えがより確かになった。

三 学習のモデルを示した学習の手引き

○話し合いの進め方や発言の仕方を示した台本型の学習の手引き

(三年「集まれ！世界の民話」)

台本型話し合いの手引き①

原	ぼくから話していいですか。
田・森・林	どうぞ。
原	ぼくは、「あるところに」という言い方が、民話らしくておもしろいなと思いました。そのわけは、近くのような気もするし、遠くのような気もするし、でも、かならずどこであるような、ゆめがある言い方だからです。田口さんは、どうですか。
田口	わたしが考えたのは、「春には、すみれ、たんぽぽ、ふでりんどう」というところが、とてもリズムがよくて、民話らしいなあということなんです。なぜなら、声に出して楽しめるところが、民話のおもしろさだと思うからです。
森	森くんは、どうですか。
森	うーん。ぼくは、まだ、考えがまとまっていません。
林	林さん、さきをお願いします。
林	わたしは、田口さんとおなじです。田口さんにつけくわえて、「すみれ、たんぽぽ・ふでりんどう」と「かえで、かまずみ、むるでは」のことばの数が「3音、4音、6音」と同じです。花の名前をリズムよくならべているけれど、それだけに、とうげの美しさがつたわってくるのも、民話のよさじゃないかしら。
原	ほかに見つけたところはありますか。ぼくは・・・(以下りやく)

*かわりあって、それぞれの役を読んでみましょう。

*原くん役を女の子がする場合は、「ぼく」のところを「わたし」に、田口さん役を男の子がする場合は、「わたし」のところを「ぼく」に言いかえて、読みます。ことばの終わりも、読みやすいようにかえてもいいです。

*まだ、自分の考えをもていなかったり、考えていたことを友達とにさきに発言されてしまったら、ということも、じっさいの話し合いの中ではありますね。そんなときは、グループのみんなが助け合って、意見が言えずにこまっているお友だちが、悲しい思いにならないようにしていきましょうね。

台本型話し合いの手引き②

名前

()

原	たくさん意見が出されたけど、どれをえらんだらいい？
田口	同じような意見がたくさん出たものをえらんでは。どうですか？
森	同じです。みんなが気がついているのだから、だいじなところでしょ。

林 うーん。それもいいけれど、わたしはちよつとちがう。一人しか見つけていないけれど、とてもいい意見もあるでしょ。

原 なるほど。民話のよさをじっくり考えられているということが大事になるね。

林 そう。それに、ほかのグループには出ていないような意見があるといいね。

原 それじゃあ、どんな意見にする。

田口 たとえば、おじいさんが美しいけしきにうっとりなつて、時間も仕事もわすれてしまっているところをえらんではどうでしょう。そのわけは、のんびり、ゆったりした気持ちになれるから。いかにも、民話らしいじゃない。

森 わたしは、転んでしまつて、真っ青になつて、がたがたふるえているところ。言いつたえのこわさや、おじいさんがショックを受けている様子が目にかぶでしょ。このおおげさな言い方が民話のおもしろいところだと思います。

原 なんだか、せいはんたいのおじいさんのすがたね。どちらが、民話らしいと言えるかなあ。

林 でも、同じようなところもあるね。美しいけしきを見ればうっとりしてしまふ、しつぱいすれば、真っ青になつてがたがたふるえる。なんだか、自分の心にすごく正直じゃない。

原 二つの意見をまとめることができるね。「自分の心にすごく正直なおじいさんが登場する」ではどうかな。

全員 さんせい。いいと思います。

台本型話し合いの手引き③ 名前)

原 「そんなある日のこと」で、始まっているところかな。場面2にもあつたけれど、やはり民話らしい言い方だと思う。どうですか。

全員 さんせい。わたしも、いっしょ。おなじです。(口々に)

森 つけくわえて、これも、これまでの場面で出てきたのだけど、ことばのくりかえしがおもしろいところ。「なるほど、なるほど」というところ。

林 「一度転ぶと、二度転べば、三度転べば・・・」と、どこもおなじだと思ひます。くりかえされていて、とてもリズムがいい。

原 それだけじゃないよな。くりかえされるたびに、なんが力強くなつてくるよな。

田口 そう、そう。四回もくりかえされているので、おじいさんもすっかりその気になつたんだ

林	ね。 なるほど、一回いっただけじゃ、つたわらなかつたんだね。四回もくりかえされるから、たのしくなって、はげまされて……。民話のくりかえしって、おもしろいねえ。
田口	きょうの場面3のところは、そのくりかえしが、とくに多い気がするね。
森	「えいやら えいやら えいやらや」という歌も同じね。
原	それに、おじいさんの転び方。ちよつとずつかわりながら…… でも、その音におじいさんの楽しい気持ちがあらわれているような気がする。
林	くりかえしのいいところって、まだまだあるね。でも、なにか、ほかのすてきはないかな。
森	この場面にしかないようなところだね。何かないかなあ。

○あらすじの書き方(モデル)を示した学習の手引き (四年 教材「ごんぎつね」)

A ごんの兵十へのつぐないを中心にとめると

ごんは、自分のいたずらのせいで、兵十の母親がうなぎを食べられないまま死んでしまったと考えた。「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」こうかいしたごんは、兵十につぐなおうとする。次の日も、その次の日も、くりを拾っては兵十にとどける。兵十が、このことに気がついたのは、火なわじゅうでうった後であった。

B ごんと兵十の心のすれちがいを中心にとめると

ごんは、ひとりぼっちになった兵十のために、毎日、くりやまつたけをとどける。ごんは、お念仏から帰る兵十の「かげぼうしをふみふみ」について行くが、兵十の前に現れることはできない。兵十も、ごんの思いを知ることができない。ついに、くりを持ってきたごんをいたずらと思ひ、兵十はひなわじゅうで打ってしまう。

四 自己評価力を高める学習の手引き

- 1 「」の学習で、「こんな国語の力がついたらよ。」
- ・・・な読むことの力がついたらよ。
 - 読むことの・・・なよさがわかったよ。
 - 読むとき、こんなことが大事だと・・・。
 - 深く読んでいくっていいなあ。なぜなら・・・
 - 今、付けたい力は・・・
- 2 「」の学習は、自分にとって「どんな意味があったよ。」
- この科学読み物(詩、物語、伝記など)に出会えてよかった。なぜなら・・・
 - ・・・について、いろいろ考えることができた。この経験は・・・
 - 今まで考えることもなかった・・・について考えるようになった。見方が変わってきたような・・・
 - 学習をして・・・を疑問に思った。このことについて、もっと考えたく(知りたく)なった。

五 つまぎまな学習の手引きの形

書くための手引きとなる言葉が、下段にあるためさっと目を通しながら、自分の考えをまとめることができます。

拝啓 宮沢賢治様（やまなし最終）

あなたの『やまなし』に、あなたのどんな人生が表れているか考えました。『やまなし』は、あなたが、妹・トシさんの死

作品だと考えました。

そう考えることができた叙述をいくつか挙げて説明します。

〇 例えば、……と
いう出来事があります。これは、賢治の……という気持ちに……という色だ
と考えられます。

〇 例えば、△△と
いうオノマトベがあります。意味は分かりませんが、自分……
の印象をもちます。……
という気持ちがあるか
がええます。

〇 例えば、××と
いう色彩語が多く使わ
れています。この色
は……

〇 例えば、○と
いう色彩語が使われて
います。これは、賢
治の……という気持
ちに……という色だ
と考えられます。

〇 例えば、△△と
いうオノマトベがあり
ます。意味は分かり
ませんが、自分……
の印象をもちます。……
という気持ちがあるか
がええます。

〇 例えば、××と
いう色彩語が多く使わ
れています。この色
は……

〇 例えば、○と
いう色彩語が使われて
います。これは、賢
治の……という気持
ちに……という色だ
と考えられます。

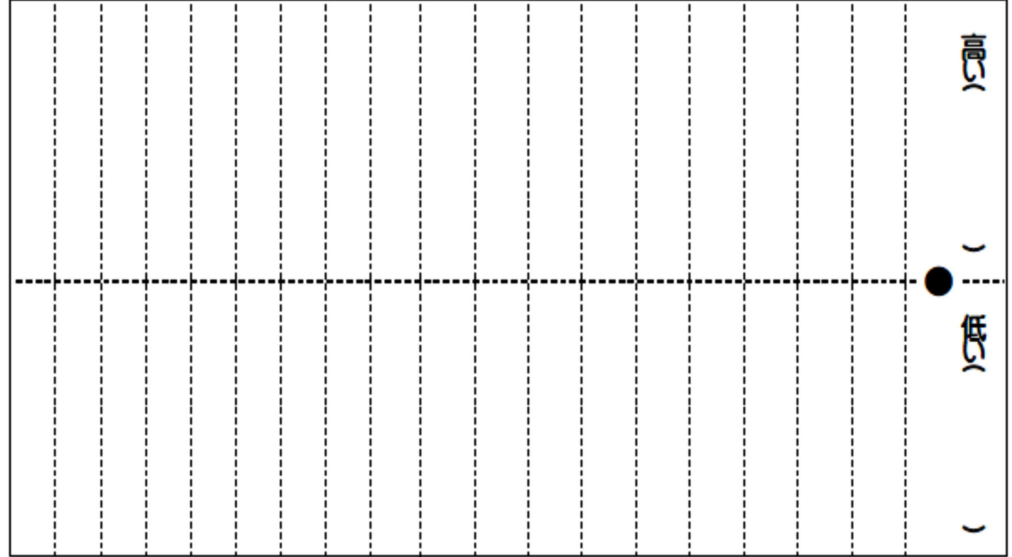
椋鳩十さんから大造じいさんとガン〜三

二年目の大造じいさんの心情は

第一場面の大造じいさんは、『成功』だと思つたら、次には『失敗』となるようですね。続いての第二場面では、大造じいさんの「心情」(別名 テンション)に挑戦してみましょう。

高い) (低い)

筆 音



- ① ●からスタートしましょう。
- ② まずは高まっていますか。低くなっていますか。○で囲もう。
- ③ テンションが一番高いのは、どこでしょう。教科書に……を引いておこう。
- ④ そこから先、テンションはどうなっているか。○で囲もう。変わらず、高いまま低くなっている
- ⑤ ●で線を引いたように、その心情の高まりを表している表現がいくつかありますか。例にならって、グラフを書いてみましょう。例にならって、表現を書きこんでみましょう。

じいさんは むねをわくわく「しめたぞ。」
夢中 でかけつけました。「ほほう、これはすばらしい。」
たかが鳥のことだ、……
「はてな。」首をかしげ
「いったい、どうした……」
「ううむ、感嘆の声をもらし

モデルを示す、視点を示す……さまざまな方法を組み合わせています。

- ① 妹・トシさんの死を整理することができただろうか。できなかったらどうか。
- ② 授業でつかった観点を生かそう。
 - ・出来事
 - ・会話
 - ・色彩語
 - ・オノマトベ
 - ・その他の表現
- ③ 最後は賢治さんにとつての『やまなし』の存在を短く、別のことで表そう。